

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハビ－柏教室		公表日		2024年 10月 2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 整備 運営・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	3	お子様に合った教材を都度作成している。	都度作成をしている。訪問用の教材はないため、児童発達支援で使用していないときであれば使用できる。特に教材はない。カードやプリント等持参はしている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	訪問支援員の数は適切であると思う。	訪問に行くと、支援に支障がある日もあるため、訪問できる日が限られている。	
業務改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	振り返りは職員間で共有している。	教室内全体にはまだ定着していない。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者様からいただいたご意見は職員間で共有し、都度意識して対応できている。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		随時意見が言い合える環境であると感じる。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		社内の部署にて評価を行い、頂いた意見は反映している。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	各職員が進んで知識を取り入れようと働きかけている。	社内で保育所等訪問支援の情報が展開されるのに時間がかかる。	
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		お子様に合わせた内容で目標を設定している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		担当職員と児童発達支援管理責任者が相談しながら検討している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		訪問先の担任の先生や園長先生のお話も参考にし、支援計画を作成している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		計画に沿って支援を行うことを心掛けている。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		社内で作成しているツールで統一して実施している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		お子様への対応方法のみでなく、ご家族や訪問先施設の先生方に対しても支援を行っている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		基本的には担当職員が把握し、担当の変更がある場合は計画の引継ぎは実施している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	3	訪問前よりは訪問後に次回の目標や動きを確認することが多い。	保育所等訪問支援では担当者のみで把握していることが多い。集団支援の際は打ち合わせするが、個別の場合は打合せはないことが多い。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	一人で支援を行うことがないように他の職員と共有をしている。	共有のみで終わってしまい、他の職員と対応方法について検討できないことがある。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		介入の方法や、どこまで介入するか等、必ず担任の先生と相談して決めている。			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		後から他の担当者が見返しても重要な点が伝わるように記録をつけている。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		必要に応じて聞き取りを実施し、目標との照らし合わせを実施している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	児童発達支援管理責任者や担当の支援員が出席するようにしている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	どんな些細な情報でも取りこぼさないように意識している。	他事業所との関わりや結びつきはあまり強い方ではない。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		わかりやすい引継ぎを心掛けている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		4		他の事業所が行っている保育所等訪問支援を目的にする機会が多いが、助言や外部研修はない。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		4		子育て会議等の参加はほとんどない。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		児童発達支援も利用している利用者が多いため、常に様子の聞き取りを実施している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		オンライン参加できる家族支援プログラム等を提供している。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に丁寧に行っている。	
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		初回訪問時に丁寧に行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		アセスメントの際に確認を行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		ニーズや現状の確認を再度行い、目標設定についても認識の違いがないか丁寧に説明を行っている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		相談を希望される利用者だけではなく、こちらから声をかけて面談を実施することもある。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者様や兄弟児も参加可能なイベントを提供している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		迅速に対応できている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	ホームページで事業所の情報を、SNSで療育に関わる内容を発信できている。	保育所等訪問支援の内容は発信できていない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		鍵の管理や勤務中のPC、個人ファイル等あらゆる個人情報の取扱いに注意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		状況によっては資料を用意する等受け手に合わせた対応を行っている。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		担当職員が答えに詰まった際には他の職員と相談したり、調べたりして対応を行っている。	
訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		都度必ず実施している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		都度必ず実施している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		必要な事項をお伝え、聞き取り。計画の共有等の書類を持ち歩く際も細心の注意を払っている。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		適切な距離感を保って介入することを心掛けている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		非常時に備えた訓練は実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全管理を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット発生時には職員で再発防止策を検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		社内で研修やチェックシートの活用を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		必要な場合は職員、保護者への共有を実施している。	